

# 消防協力者へ 感謝状を贈呈しました

## チームプレーで車両火災を鎮火

従業員が連携して車両火災の被害を最小限に防いだとして、令和3年6月30日、アイリスオーヤマ株式会社角田工場さんへ感謝状を贈呈しました。

令和3年5月28日17時40分頃、アイリスオーヤマ株式会社角田工場の敷地内で、トラックの荷台から煙が出ているのを従業員が発見しました。ただちに複数人で消火器を使用し初期消火を行いました。が、それでも黒煙がおさまらないため、従業員は協力し、屋外消火栓から放水して消火を行いました。従業員の迅速な初期消火活動により、消防隊が到着した時には鎮火していたものです。

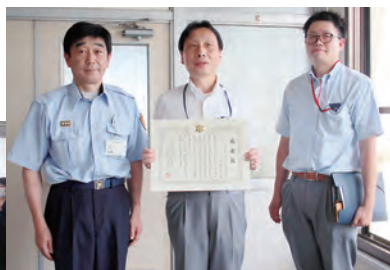


▲長井 愛さん(写真左)、角田消防署長

## 勇気ある人命救助

令和3年8月3日13時40分頃、丸森町内の川で、小学生2名が溺れているのを近くにいた女性が発見し、周囲に助けを求めました。その声に気がついた長井愛さんは、自分の浮き輪と周囲の人が投げ入れた浮き輪を使用して2名を救助しました。その後、2名は病院に搬送されましたが大事には至らなかったものです。

今回の救助活動について、令和3年9月10日、長井さんに感謝状を贈呈しました。



▲角田消防署長(写真左)、アイリスオーヤマ角田工場の従業員代表の方々



▲表彰式の様子

## 住宅用火災警報器の

## 調査結果をお知らせします

当消防本部では、令和3年1月25日から5月14日までに、仙南2市7町から無作為に抽出した約330世帯を対象に、住宅用火災警報器の設置状況について調査を行いました。皆さまのご協力ありがとうございました。

調査結果は左表のとおりです。仙南2市7町の設置率は全国平均を上回っていますが、条例適合率は県平均を下回っており、約5割の住宅では十分な設置がされていませんでした。

大切な生命、財産を守るためにも住宅用火災警報器を基準どおりに設置しましょう。また、住宅用火災警報器を設置済みのお宅では、定期的に作動を確認し、実際に警報音を聞くなどの点検を行いましょ。

### 設置状況調査結果 (令和3年6月1日現在)

市町別	条例適合率 <sup>注1</sup>	設置率 <sup>注2</sup>
仙南 2市7町	51.0%	93.0%
宮城県 平均	66.5%(17)	91.5%(3)
全国 平均	68.0%	83.1%

備考 宮城県の( )は全国順位です。  
注1 寝室、台所、階段(2階以上に寝室がある場合)すべてに設置されている  
注2 注1のうち、1か所以上に設置されている



「深夜、住宅用火災警報器が作動。就寝中の住人が警報音に気づき炎を発見。台所のおけで水をかけ、消火し、事なきを得ました。」

### 住宅用火災警報器

を設置していたおかげで、大切な命や財産が失われずに済んだケース



定期的  
に点検  
しよう

安心だね

- ① 寝室<sup>※1</sup>
- ② 台所
- ③ 階段上部<sup>※2</sup>

※1 普段就寝しているすべての寝室  
※2 2階に寝室がある場合に限る